

7-7 広島県のでんかん地域診療連携体制整備試行事業

広島大学病院てんかんセンター 飯田幸治

まとめ

- ・事業実施に当たり、具体的な取組みを行うためのワーキング組織を設置し、サブWG医療機関における患者調査、WEBカンファレンスでの症例検討、連携体制の仕組み作りを検討した。
- ・「てんかん症例検討会」を、UMICS（国立大学病院インターネット会議システム）を利用したWEBカンファレンスで行い、サブWG医療機関と広島大学病院との間で症例発表・検討を行うことで、てんかん診療のレベルアップとてんかん診療ネットワークの構築を図ることができた。
- ・教育関係者向け研修会、医療従事者向け研修会、医療職・福祉職を目指す学生向け研修会を行い、現場での適切な対応や診療医術のレベルアップを図った。
- ・普及啓発活動として市民フォーラム、日本てんかん協会での講演会、サンフレッチェ広島とのコラボレーションを行い、新聞にも掲載され、てんかんに対する関心と理解を高めるのに役立てた。
- ・事業の指標としててんかん患者調査を行った。

1. てんかん地域診療連携体制整備試行事業の概要

てんかん治療医療連携協議会だけでなく、具体的な取組みを行うためのサブワーキンググループ（WG）を設置し、WEBカンファレンスでの症例検討会、連携体制の仕組み作り、サブWG医療機関における患者調査を行った。研修会として教育関係者向け研修会、医療従事者向け研修会、医療職・福祉職を目指す学生向け研修会を行い、また普及啓発活動として市民フォーラム、日本てんかん協会での講演会、サンフレッチェ広島とのコラボレーションを行い、新聞紙上に掲載された。事業の指標としててんかん患者調査を行った。

2. てんかん地域診療連携体制整備試行事業

1) てんかん治療医療連携協議会サブWG

3次診療施設（てんかん診療拠点機関）と2次診療施設（全二次医療圏域の中核となる医療機関）の医師12名からなり、年に2回開催し、事業実施に当たり、具体的な取組みを行うためのワーキング組織を設置し、サブWG医療機関における患者調査、WEBカンファレンスでの症例検討、連携体制の仕組み作りを検討した。

2) 遠隔てんかん症例検討会

広島県は広い地域に二次医療施設があり、そこに出向いててんかん二次診療のレベルアップを図ることは困難である。てんかん治療のレベルアップや啓発を目的とし、UMICS（国立大学病院インターネット会議システム）を利用して遠隔てんかんカンファレンスを行った。広島大学病院にて従来実施していた「てんかん症例検討会」（毎月1回・第3木曜日）を、UMICSを利用したWEBカンファレンスで行い、サブWG医療機関と広島大学病院との間で症例発表・検討を行うことで、てんかん診療のレベルアップとてんかん診療ネットワークの構築を図った。

てんかん症例検討会参加実績（2017年4月～2018年1月開催）

参加人数：広島大学231名、サブWG109名、徳島大学15名合計355名

3) 研修会

①教育関係者向け研修会

てんかんを持つ児童の教育現場（特別支援学校）において、てんかん発作への適切な対応や最新治療法の情報共有を行うため、広島県内の特別支援学校にて研修会を開催した。

H29 年度開催回数 4 回、参加人数合計 225 名、初年度から通算開催回数 13 回、参加人数 1181 名

②医療従事者向け研修会

- ・てんかん脳波セミナー脳波判読技術と、てんかん診断、診療の「質」の向上を図るため「てんかん脳波セミナー」を開催した。

H29 年度開催回数 1 回、参加人数 135 名、初年度から通算開催回数 2 回、参加人数 255 名

- ・小児及び成人てんかんの病態と治療についての講演と判読技術について勉強会を行い、てんかん診療のレベルアップを図るため「中国四国てんかんセミナー」を開催した。

H29 年度開催回数 1 回、参加人数 100 名

- ・二次医療圏（広島地区、尾三地区、福山地区）において「てんかん診療を考える会」を開催した。

H29 年度開催回数 3 回、参加人数合計 155 名、初年度から通算開催回数 5 回、参加人数 259 名

③医療職・福祉職を目指す学生向け研修会

広島国際大学医療福祉学部において、将来てんかん患者に接する機会のある学生を対象に、実習へ向けて、てんかんへの理解を深めるとともに発作の対応を学ぶための講義を行った。

H29 年度開催回数 1 回、参加人数 70 名 H30.4.6 に研修会予定、予定参加人数約 1,000 名

研修会実績(H29年度一覧)

●教育関係者向け研修会

開催日	研修名	研修内容等
H29.8.2	広島県立三原特別支援学校での研修講演学習会	内 容:てんかん発作について 対象者:三原特別支援学校 教職員等 参加数:30名
H29.8.4	広島県立広島北特別支援学校での研修講演学習会	内 容:障害のある児童生徒の医療的ケアについて・てんかんについて 対象者:広島北特別支援学校 教職員 参加数:70名
H29.8.29	広島県立三原特別支援学校での研修講演学習会	内 容:てんかん発作について 対象者:三原特別支援学校 教職員 参加数:65名
H29.9.12	広島県立呉特別支援学校での研修講演学習会	内 容:てんかんを知る・診る・啓発する 対象者:呉特別支援学校 教職員 参加数:60名

●医療従事者向け研修会

開催日	研修名	研修内容等
H29.5.24	広島のでんかんの診療を考える会	内 容:薬物治療、外科的治療、療養指導等のてんかん診療について 対象者:医師、医療関係者 参加数:79名
H29.6.23	尾三のでんかん診療を考える会	内 容:広島大学てんかんセンターでの取り組み・高齢者てんかんについて 対象者:医師、医療関係者 参加数:26名
H29.8.9	てんかん診療を考える会	内 容:広島大学てんかんセンターでの取り組み・シニア世代のてんかんについて 対象者:医師、医療関係者 参加数:50名
H29.10.28	広島でんかん脳波セミナー	内 容:脳波判読の基本 対象者:医師、医療関係者 参加数:135名
H29.12.17	中国四国てんかんセミナー	内 容:小児及び成人てんかんの病態と治療について、脳波判読について 対象者:医師、医療関係者 参加数:100名

●医療職・福祉職を目指す学生向け研修会

開催日	研修名	研修内容等
H30.1.29	社会福祉援助技術現場実習概論	内 容:実習へ向けて、てんかんへの理解を深めるとともに発作の対応について 対象者:広島国際大学医療福祉学部2年次生 参加数:70名

4) 普及啓発活動

①市民フォーラム

広島市で「てんかんを考える」と題して市民フォーラムを開催し、専門医による最新の治療法（薬物治療のながれや難治性てんかんに対する外科治療等）、小児てんかんの治療について紹介した。また、患者さんが充実した生活を送るため「就労」をテーマに各分野の専門の方と共に、わかりやすくアドバイスをした。※H30.3.25 三次市でも開催予定

H29.9.10 開催，参加人数 328 名、初年度から通算開催回数 4 回，参加人数 731 名

②日本てんかん協会での講演会

日本てんかん協会広島県支部にて「てんかんの治療について」と題して講演会を開催し、てんかんに関する適切な診断・治療と必要なケアについて啓発を行った。

H29.4.23 開催，参加人数 32 名

③サンフレッチェ広島とのコラボレーション

・特別支援学校にて，サンフレッチェ広島アカデミー部によるサッカー教室を開催した（H29.12.21 開催）

・てんかん疾患に対する正しい理解を持ってもらうため，サンフレッチェ広島の本拠地・エディオンスタジアムにて，紫をチームカラーとするサンフレッチェ広島と広島大学病院てんかんセンターがコラボレーションし，てんかん疾患の啓発活動を行う予定（H30.3.18 実施予定）。

（活動内容）スタジアム前の広場に「てんかん疾患啓発ブース」を設置し，来場者にちらし，コラボ缶バッジを配布，横断幕へてんかん患者への応援メッセージの寄せ書きをしてもらう。また，サンフレッチェ選手による応援ビデオメッセージを作成し，スタジアムで放映する予定。

普及啓発活動実績(H29年度一覧)

●市民フォーラム

開催日	講演会名	内容等
H29.9.10	市民フォーラム「てんかんを考える」 in広島	内 容:専門医による最新治療法(難治性てんかん, 小児てんかん)の紹介, 就労について 対象者:一般市民 参加数:328名
H30.3.25 (予定)	市民フォーラム「てんかんを考える」 in三次	内 容:専門医による最新治療法(難治性てんかん, 小児てんかん)の紹介 対象者:一般市民

●日本てんかん協会での講演会

開催日	講演会名	内容等
H29.4.23	てんかんの治療について	内 容:てんかんの治療について 対象者:てんかん患者, 患者家族 参加数:32名

●サンフレッチェ広島とのコラボレーション

開催日	内容等
H29.12.21	サンフレッチェ広島アカデミー部によるサッカー教室, 参加者:特別支援学校生徒
H30.3.18 (予定)	エディオンスタジアムでの啓発活動, ちらし・缶バッジ配布, 応援メッセージの寄せ書き, 選手からのビデオメッセージ等

